

科学と社会の関係語る

ノーベル賞梶田さんら講演



2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章東京大学宇宙線研究所長らが8日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで講演した。

グローバル・ピース・ダイアログ沖縄2019（主催・大学コンソーシアム沖縄）と題したイベントで、県内高校生158人、大学生27人が聞き入った。

梶田さんは、気候変動や地球温暖化などを念頭に、科学技術と社会の関係を語った。今後にもさらに関係が深まっていくとして「一人一人が科学者であれ違う立場であれ、正面から向き合って正しい方向に行っていく」と呼び掛けた。研究者を目指す女子の友人が周囲から「反対されたとい

学生たちと記念撮影をするグラミン日本の菅正広理事長（手前から2列目の左から6人目）ら118日、沖縄コンベンションセンター（提供）

う生徒の質問に、「女性であっても男性であっても研究を志す人は研究すべきだ」との力強いメッセージを發した。

貧困者への小規模無担保融資で06年にノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行の日本版であるグラミン日本の菅正広理事長は「貧困は自己責任ではなく、社会の問題として取り組むべきだ」と述べた。

沖縄尚学高校1年の國仲元之輔さん（16）は「若い世代の自分たちがどんなことをすれば地球全体に貢献できるかを学べた」と語った。